

ケアマネ かわら版

2016年
12月号

Vol.51

松江地域介護支援専門員協会

事務局:〒690-0044
松江市浜乃木2丁目15-32
ゆめ福居宅介護支援事業所(内)
TEL(0852)61-6900
FAX(0852)61-6902
E-mail:matsue-cm-kyoukai@marufuku.co.jp

行政とケアマネ協会との意見交換会

松江市健康福祉部 次長 遠田悟

平成28年9月2日 松江市役所において、第3回行政とケアマネ協会との意見交換会が開催されました。松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の施策の柱のひとつに「介護予防・日常生活支援総合事業」の導入・推進があります。今回は来年から始まる総合事業の説明を行いました。意見交換では様々なご意見ご質問をいただきました。

総合事業の特徴は、市町村が中心となり、地域の実情に応じて、多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指すものです。サービス類型の組み立ては、疑問な点も多くガイドラインやQ&Aを何回も読み返しながら、或いは、先進自治体への問い合わせなどかなりの難産であったように思います。

総合事業では、基本チェックリストによりサービス利用が可能となるため、介護予防ケアマネジメントが重要になります。自立支援を目的とした適切なサービス提供には、ケアマネジメントの高いスキルが求められます。松江市では、スキルの平準化と質の向上を図るため、「松江市介護予防ケアマネジメントマニュアル」を作成します。また、来年には研修会の開催も予定しております。たくさんの皆様の参加をお待ちしております。



行政との連携強化を図ります

* * * 『三年未満ケアマネ研修会』について * * *

ケアマネ協会では、包括支援センターが主催するブロック連絡会『三年未満ケアマネ研修会』の企画に関わっています。今年度も第3回ブロック連絡会が9月20日いきいきプラザで行われ、「医療連携に関する苦手意識の克服」をテーマに約40名のケアマネジャーが参加しました。



JALしまねくにびき介護相談センター 井 上 理 恵

ケアマネジャー業務について七ヶ月、介護職出身ケアマネの私にとって、今、正に壁に直面している内容でした。

グループワークの中で話し合った結果、医療連携で困っていることは「医者との連絡は取りにくい。敷居が高い。医療の知識が不十分で自信がない。」「入院中病院からの連絡がなく、途中の経過が分からぬ。入院中の情報収集がうまく行えない。」等の意見が出ていました。

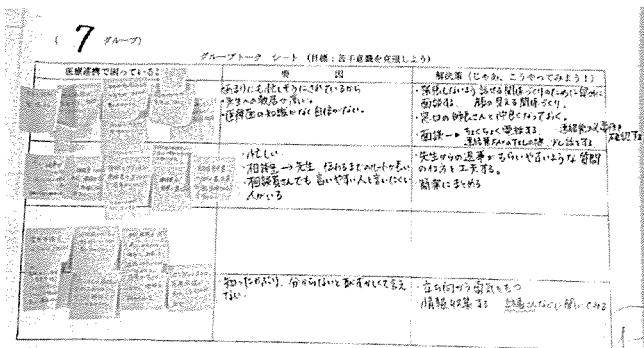
医療連携がうまくいかない要因、解決策については、苦手意識が強くなり医療側とのコミュニケーション不足…病院に積極的に足を運ぶ。→その為には確認したいことを分かりやすく要約しておく。(アポは必ずとる)

医学的な知識を深めるのは勿論ですが自分に足りない知識についてはその道の専門分野の人を上手に活用、相談する。…等の意見が出ました。今後、必要に応じて病院へ足を運ぶことで情報収集、

的確な情報提供を行い、病院との顔の見える関係作りが出来たらいいと思います。

そしてまずは私自身が経験を積むこと、また平成29年4月からの在宅医療と介護との連携の事業開始に向けて、自分自身も現状を理解し、多職種との勉強会に参加し他職種の考え方を理解していくかなければならないと思います。

医療とケアマネの連携が図れ、利用者が日々安心してその人らしい生活が出来るよう支援していきたいと思います。



ワークシートはふせんや文字がピッシリ

福祉用具レンタル・販売・住宅改修



介護保険事業者番号 3270103058

株式会社 かすみコーポレーション フィットアップ
〒690-2103 島根県松江市八雲町西岩坂1042
TEL:0852-67-3323 FAX:0852-67-6390

訪問リハビリ 特急便

さあ、始まる、本気の
“えだクリニック”

松江市全域どこでも喜んで伺います!

えだクリニック松江サテライト
住所:松江市西尾町487-1 エテルノ303号室
TEL:080-2904-2037 (松江担当:石川)



活発なグループワークの様子

☆経験不足からの不安や苦手意識があることを自分自身が気付き、仲間に伝えました

→同じ思いがある仲間と共に感し、自分たちに何が足りないのだろうか、

どうすればうまくいくのかと話し合いました

→話し合いの中からこんな方法でうまくいったことがあるよと声が出たり、

自分の足りないところに気付くきっかけになりました

☆各グループの「決意発表」を紹介します

1グループ

(こちらから歩み寄り)することことで医療連携の苦手意識を克服しよう。

2グループ

(失敗を恐れず行動)することによって医療連携の苦手意識を克服しよう。

3グループ

(相手の立場をより良く)聞いてすることで医療連携の苦手意識を克服しよう。

4グループ

(自分からアプローチ)することことで医療連携の苦手意識を克服しよう。

5グループ

(みんな聞いていい)ることで医療連携の苦手意識を克服しよう。

7グループ

(根回し)することで、医療連携の苦手意識を克服しよう。

施設の安全衛生を守ります。
(メディカル ケア ウォーター)

株式会社 **松江安室**

島根県松江市八幡町889-1
TEL 0852(37)0009
FAX 0852(37)0000

真
明るい
ありがたい



で介護をお手伝いする



福祉用具レンタル・販売・住宅改修

ジョイ・ケア **たいよう** 松江店

介護保険事業者番号 3270103090
〒699-0408 松江市宍道町昭和22
TEL 0852-67-3291
FAX 0852-67-3292

医師とケアマネジャーの合同研修会に参加して

鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所 青山 善一

今回で13回目になる医師とケアマネジャーの合同研修会にパネリストとして参加させて頂きました。テーマは「嚥下障害に対する医療と介護の連携」という事で、様々な専門職の立場から嚥下障害について発表があり、私は介護支援専門員の立場から、誤嚥性肺炎で入退院を繰り返すケースに焦点を当てて話をさせて頂きました。

誤嚥性肺炎での入退院を繰り返すケースは多く、入退院を繰り返しているうちに、在宅生活を続ける事が出来なくなるケースも少なくありません。介護支援専門員としてはサービス調整や支援内容を考えることはもちろんですが、今後は、いかに家族を巻き込み、サービスの入らない時間帯や緊急時にスムーズな対応が出来る様に家族支援も重

要になっていくという内容でお話させて頂きました。家族の対応一つで誤嚥性肺炎を未然に防ぐこともでき、入院することなく自宅での生活が続ける事も出来ます。

誤嚥性肺炎一つとっても原因や症状、治療方法等それぞれ違い、医師、看護師、歯科衛生士の様々な専門職からの視点、それによって支援の内容も違い、経過によって支援内容の変化も必要だと改めて感じました。



座長 松嶋永治 先生



青山善一 氏



講師 仙田 先生



パネリスト 漆谷 先生



パネリスト 須山 先生

全国介護タクシー協会会員

介護タクシー

ほのか

病院や施設、お買い物の送迎に御電話お待ちしています。

〒699-0203

島根県松江市玉湯町布志名637-96

TEL 0852-62-2206 FAX 0852-62-2306

ケアショップ レンタル
販売 住宅改修
やまと

有限会社 山本梶包 福祉サービス事業部

〒 690-0021 松江市矢田町 36-1

TEL 0852-24-3563 FAX 0852-69-2096



生協のぞみ訪問看護ステーション所長 伊藤 和江

皆さまの前で発表することは緊張しましたが、パネリストとして参加したことで、新たに横のつながりを得ることができ感謝しています
座長松嶋先生の進行はすばらしかったですね!

小規模特養あさひ乃苑 歯科衛生士 北村 恵

今回の研修に参加させていただいて、口腔に関する関心が高まっていることを改めて感じました
地域包括ケアシステムを展開する中で、歯科の役割について今後さらにケアマネジャーの皆さんに理解していただけるネットワークを作っていくべきだと思います



～研修に参加された医師の感想～

松江市医師会 堀 浩太郎

仙田Drによる耳鼻科医からの嚥下機能に関するレクチャーは、基礎的なところから解説して頂き、大変参考になりました。嚥下機能の低下、誤嚥がADLを低下させる大きな要因になるケースは多く、麻痺等の障害のある患者さんが普段どの程度飲み込みができるのか、また咽頭内に残ってしまった食べ物をゆっくり嚥下していく経過をビジュアルで確認すると、今

後の注意点なども考えやすいと思いました。

これに合わせて、歯科衛生士の北村さんの口腔ケアの講演を聞くことで、口腔～下咽頭までの器官の管理が食行為にいかに重要かディスカッションできましたと思います。

今後、歯科医師会、歯科衛生士の方にも研修会に参加して頂いて、より有意義な時間に出来ればと思います。



仙田先生の講演。満席です。



本店 〒692-0011 安来市安来町 1083

☎ 0854-22-3652 FAX 0854-22-4222

松江店 〒690-0012 松江市古志原3-7-31

☎ 0852-28-6041 FAX 0852-28-6045



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修・
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4
TEL 0852-22-3553 FAX 0852-22-3555



講師 オフィスびーぶらす代表
岩成洋子 氏

今年度も松江地域介護支援専門員協会研修会を企画しました
今回は、アンガ（イライラ、怒りの感情）と上手に付き合う方法を学びました
他圏域ケアマネジャーの参加も多くうれしい限りです
鳥取から参加された佐々木さんへ感想をうかがうことができましたので紹介します

■ 今回の研修参加のきっかけ

居宅介護支援ブランドオフィスとしては、自己研鑽の為に、毎月1回は外部研修に参加することを目標にしています。今回、外部研修をインターネットにて探していたところ、アンガーマネジメントの研修会があると確認し、ちょうど松江地域介護支援専門協会よりアンガーマネジメント研修の案内をいただきいたので早速参加させていただきました。

■ 研修を受けての感想

自分の怒りの傾向がわかってよかったです。
今回初めて、「アンガーマネジメント」との言葉を
知りました。私は知らないうちに怒っていることが
ありますが、怒りによって失うものは多いと確かに
思います。その怒りをコントロール出来れば幸せになれると思います。

私の場合は、怒ると腹の虫がおさまらないので、よけいに体に悪いのではないでしょか。その怒りの感情をマネジメント(上手に付き合う)することで、怒りのエネルギーをもっとポジティブに使えますよね。自分がその出来事はどうとらえるか、物事の考え方、捉え方、価値観を変える必要があるとわかりました。

ケアマネとして、対人援助の場面でクライアントに怒りを感じる時(表には出しませんが)、やはり前向きな良い援助は出来ないのでしょうか。

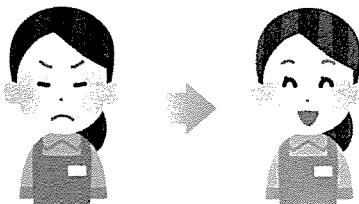
居宅介護支援プランドオフィス 佐々木 学

感情労働でもあるので、自分の感情を抑えてクライアントの援助をしています。私たち自身がいろんな意味でストレスが知らず、知らずたまっていき、精神的に不健康な状況では、当然良い仕事は出来ません。健全な心身状態でないと良い仕事は出来ないと思います。

ゆえに、良い仕事、対人援助を行うために、私たちは自分の心身状態に積極的に気を使うべきあり、メンタルヘルスやアンガーマネジメントなどの手法を使う必要があると思いました。



グループワークで、日頃の怒りを振り返りました。





Facebook

松江地域介護支援専門員協会

～気まぐれに更新中(‘▽’)～

ケアマネかわら版に次ぐ情報発信源として、
ケアマネ協会フェイスブックを気まぐれに更新し
ています!

ケアマネ協会HPからでも簡単に繋がることが
できますので、気軽にお訪ねくださいませ。

ここ

株式会社原商

スマイルケア



福祉用具のレンタル・販売・住宅改修

宍道事業所

松江市宍道町白石81-10

TEL 0852-66-3900

松江事業所

松江市西法吉町36-28

TEL 0852-32-0294

サービス付き高齢者向け住宅
花きりんハウス 東出雲



現場力!!

〒699-0111 松江市東出雲町意宇南5-4-1
TEL: 0852-67-5010 FAX: 0852-67-5011
ホームページ: <http://hanakirin.net>

働くあなたの支援! 困ったときのお手伝いサービス



お洗濯
代行サービス

在宅・病院
介護施設

ご自宅・病院・介護施設へ取りに伺います!

まずはお電話ください!
0120-137-656

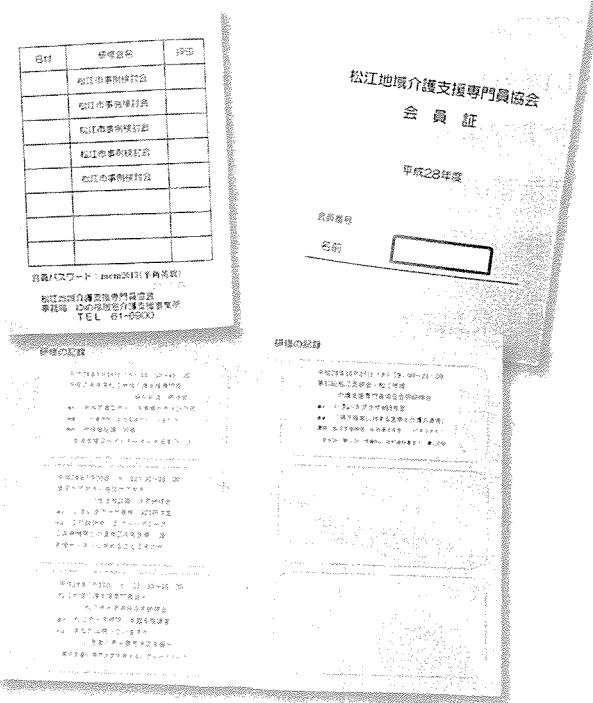
アイカム 株式会社 松江市東長江町902-53

お 知 ら せ

◆ 松江地域介護支援専門員協会 会員証について

すでにお配りしている会員証について、今年度は新たな試みで冊子の形になっているのは皆様ご承知だと思います。中を見ていただくと研修の記録という欄があり、そこにケアマネ協会が主催の研修に参加いただくとシールを貼るようになっています。また裏表紙には事例検討会の参加の度にスタンプを押すことができます。

今年度、自分が参加した研修や検討会を振り返ることで、自信やモチベーションアップに繋がれば幸いです。今後もケアマネジャーのスキルアップや業務改善を目指した取り組みに力を入れていきたいと感じています。引き続き、ご協力を賜りますようお願い致します。



◆ 月刊ケアマネジメントに松江ケアマネ協会の活動が掲載されました!

月刊ケアマネジメント11月号の「つながれ!ケアマネジャー連絡会の輪」に松江地域介護支援専門員協会の記事が載りました。協会のこれまでと体制の説明の後に、具体的な活動内容(スキルアッ

プ研修の開催、行政・多職種との連携、事例検討会の実施等)についてふれられています。詳しくは実際に手に取ってご覧ください。

編集後記

皆様にとって今年はどんな一年でしたか。

今年の始まりに誓ったことが叶えられたでしょうか。それぞれにいろいろな事があった事でしょう。思う様にいかないことも多かったかもしれません、取りあえずこの一年を乗り切った自分を「頑張ったね」と褒めてあげましょう!また新たな年が始まります。来年はさらに私たちを取り巻く環境が大きく変化していくことが予想されます。荒波に揉まれて「ケアマネ魂」が揺らがないよう、ケアマネ協会はこれからも頑張るケアマネさんを応援するべく活動して参ります。来年もどうぞよろしくお願い致します。

皆様良いお年をお迎えください!

